橋などの構造物を管理する 新モニタリングシステム開発で経営革新

支援テーマ













技術は優れているが 戦略的な経営計画がない

取手市に本社を置く株式会社KSKは、構造物の維持管理 サービスを行う企業である。構造物の維持管理業務とは、国 が管理する橋梁やトンネルといった構造物の維持管理を大手 ゼネコンやコンサルタント企業が請け負うものである。同社 は、大手企業から業務を受注しており、これまで主に関東や 東北、北海道、北陸における約2000件におよぶコンクリー ト構造物(橋など)の維持管理サービスを手がけてきた。

こうした橋やトンネルなどの構造物の多くは、高度経済成 長期に建設されたもので、20年後には建設後50年を経過す るものが63%にまで達するとみられ、今後、大規模な補修 や更新が増加することが予想される。これにとなもない、同 社のような点検業務についても高精度かつ低コストの技術開 発が求められている。

このような状況のなか、同社は、できるだけ安価で、歪み やたわみなどの変化を定量的に測定する仕組みが重要と考 え、新たなモニタリングシステムの開発に取り組んでいた。 それは、光ファイバセンサのなかでも安価に入手できるFBG センサを活用したもので、価格競争力に優れ、コンクリート 構造物の踏査点検という社会的要請に応える付加価値の高い 計測サービスである。

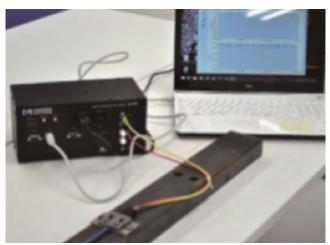
しかし、同社は、維持管理の技術力を強みとする技術者集 団であり、新技術の実用化にあたっての経営計画を策定して おらず、戦略的な事業展開について課題を抱えていた。



経営革新計画で 3年間の計画を策定

取手市商工会が同社から、新モニタリングシステムの開 発に必要な機械装置があると相談を受けたのは、2014年の ことだった。そこで商工会では、ものづくり補助金の情報を 提供。すると同社より、申請に向けた事業計画の策定を依頼 された。そこで、策定支援にあたって、事業計画についての ヒアリングをしてみると、開発中のモニタリングシステムに 革新性があったため、経営革新計画を策定し、承認を目指す ことを提案。実用化と販売展開について3年間の経営計画策 定を支援した。

こうして2015年から同社では新技術を使ったモニタリ



_____ 開発した新モニタリングシステム

ングサービスを提供。開始初年度は1件だったものの、年々 その数は増えており、着実に受注を伸ばしている。その結果、 売り上げも計画に定めた目標をおおむね達成。また業界内に おける同社の技術力の認知度や信頼度も向上。営業面におい ても好循環が生まれている。

さらに、同社は2018年、空港滑走路などのアスファル ト構造物に対応した新サービスの調査依頼がくるようになっ たことから、その新サービスを提供するため、ものづくり補 助金の計画書や経営革新計画の策定を行った。

支援の経過

文版 型框造		
期間		支援内容
2014年4月~	~5月	ものづくり補助金・経営革新計画の策定支援
2018年	F1月	経営革新計画の策定支援
1月~4月		ものづくり補助金の申請支援
11月		展示会などへの出展支援

会社概要

会社名:株式会社KSK

住所:茨城県取手市新町1-2-35 電話番号:0297-70-5961 URL: http://www.k-s-k.co.jp

代表者名:山下英俊 創業年:2003年 従業員数:88名

商工会名・担当者名:取手市商工会・小松原崇